

【付知地区】 ◆各会場で寄せられた主な意見とそれに対する市の見解

問	・ 施設のエレベーター、バリアフリー、車いす利用などへの対応はどうなっていますか？
答	・ 県の条例を満たすものとなっています。 ・ エレベーターは2ヶ所、各階には多目的トイレを完備し、必要な職員の対応で障がい者の方の利用に対応します。
問	・ 人が集まり交流するという事なので離れた地域の人たちが気楽に新しい図書館に行ける対応、例えば週1回の無料シャトルバスなどを検討してほしい。 ・ せっかくのいい場所なので、老人や子どもが気楽に行けるような方法を考えて欲しい。
答	・ 福祉バスなどの具体的な計画はまだ持っていません。 ・ 基本的には、家族で来ていただきたい。 ・ 地域図書室の充実により図書の不便さには対応していきたい。 ・ 今後の課題として、整理していきたい。
問	・ 駐車場を図書館の閉館と同時に閉められては、商店街等の活性化にならない。 ・ 駐車場の管理計画は、どうなっていますか？
答	・ 図書館敷地内の駐車場については、セキュリティ上専用駐車場として管理する必要があるため、夜間は閉めることになります。 ・ にぎわい広場、中津川幼稚園跡地の駐車場につきましては、管理は図書館だけではなく商店街を含めた地域全体の課題でもあります。 ・ 民間駐車場も含めて、担当の商業振興課と管理計画などの対応について全体計画として取り組みを検討しています。
問	・ 就職難の時に県内や市内という地元でなく、館長を全国公募としたのは何故ですか？
答	・ 図書館は、本を貸し出しをするだけではありません。図書の専門知識も必要です。 ・ 中津川市が目指す新しい図書館を造るためには、今の市の職員にはない色々な知識やノウハウ、経験を持った人材が必要となります。 ・ 新図書館建設市民協議会からの提言もあって、活気のある図書館づくりに熱意ある人を全国公募しました。その結果、小林館長のような経験豊富な人材が確保でき、頑張らせていただいています。
問	・ 国の補助金も私たちの税金であり、震災など全国でお金が要る時に国の補助金をあてにするのは、疑問に思います。
答	・ 昭和63年にも図書館建設の要望がありましたが、当時は建設費用に補助金はなく、全額市費でないと建設できなかったため、断念しました。 ・ 今回は、市の負担が最小限で建設できるチャンスでもあり、国・県の補助金を活用して取り組んでいます。 ・ 国の補助金は目的別に予算を確保し交付されるため、震災復興の予算は今回の補助金とは別であり、辞退しても復興支援に回されるものではありません。
問	・ 病院とか老人ホームに予算が組んであると言われますが、現実、老人ホームが無く、高くて入れない人が多いのに、なぜ図書館が優先なのですか？
答	・ 高齢の方や、子どもを育てる親御さんなど、それぞれの立場で希望・要望があります。 ・ そういった要望を踏まえて、市全体の中で重要施策、重点事業を組み立てて各事業を実施しています。 ・ 図書館は不要と言われる方もみえますが、中津川市の将来を担う子どもたちのために必要な機能として捉え、建設を進めています。

問	<ul style="list-style-type: none"> ・ 付知では、地域行事の補助金がなくなりました。 ・ 大きなものを造るよりも、そういうことに何故目を向けてもらえないのか、疑問に思います。
答	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国や自治体の財政が厳しくなっていくなかで、市町村は合併し、職員の削減など能率的、効率的に行政改革を進めていく必要があります、当市もその目的で合併しました。 ・ 市のいろいろな事業を、地域バランスを取りながら市民の協力を得て、協働で進めながら経費削減を図っていくことも必要であり、その中で補助金も削減されているのも事実です。 ・ そんな中で、図書館については、将来を見通す中必要な施設として建設を進めています。
問	<ul style="list-style-type: none"> ・ 恵北地区も含め、市民が図書館に「行ってみたい」という気持ちになるような、魅力あるイベントなどいろいろと考えていただきたい。
答	<ul style="list-style-type: none"> ・ 館長もいろんな取り組みを考えています。 ・ 開館までの1年半の間にしっかりと計画し、皆さまに喜んでいただける図書館にしたいと考えています。